

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 11月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500208		
法人名	医療法人エム・エム会		
事業所名	ぐるーぷほーむ九嶺		
所在地	呉市本通1丁目1-1メガネ橋プラザ4階 (電話) 0823-22-9090		
自己評価作成日	平成25年10月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500208-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成25年11月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>呉市中心部に位置し、交通の便も良く面会や、地域の方などが訪れやすい施設となっています。新年茶話会、お花見、納涼会、クリスマス会など季節に応じたイベントやお誕生日会など家庭的な雰囲気の中で、地域との交流を積極的に図り、ご家族や地域の方々のご協力のもと可能な限り自立した生活を送っていただけるよう支援しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>このホームは市中心部に位置し、家族が訪ね易く、室内は明るく、掃除が行き届き清潔に保たれている。利用者が安心して過ごし、利用者同士が和気あいあいと暮らせるホームを目指し、取り組んでいる。また利用者の今までの生活習慣を大事にし、利用者お一人おひとりがゆっくりと過ごしていただきたいと考え、職員は利用者の能力に応じた自立した生活が営めるような支援を行っている。協力病院がリハビリを行っているので、入居者が希望すれば、通院介助をし、体力を維持できるように支援している。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	利用者が地域にとけこみ、可能な限り自立した生活を送ることが出来るよう職員の意識を統一している。	事業所の理念は、職員引継ぎ時に毎日唱和し、皆で共有している。また、年間目標を立て、取り組み、年度末には実施状況を評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域で開催される行事等には積極的に参加している。また可能な限りご家族の参加も呼びかけている。	地域のイベント「七夕祭り」には、利用者が参加して地域住民と交流している。また母体法人が主催する「茶話会」にも参加し、病院外来患者、地域住民と一緒にボランティアによる演技を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居者と職員が行事等を通じ地域の方々と交流し理解は広がっている。また2ヶ月に1度程度運営推進会議を開催し、行政や地域包括の職員の方等にも相談に乗っていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、行政や地域包括、民生委員、ご家族の方々と話し合いの場を設けている。またその場で頂いたアドバイスなどは可能な限り実践に結びつけるよう努力している。	2ヶ月に1回開催される運営推進会議には、市や地域包括支援センター職員、自治会役員、家族が出席しホームの活動状況の報告を行っている。会議では、自治会役員から地域高齢者に関する話題が報告され、市職員と介護に関する話を話し合うこともある。	運営推進会議では、ホームや地域の状況報告は行われているが、前向きな意見交換が少ないようである。例えば、消防署員に出席してもらい、実際に避難訓練を行い、出席者の意見を聞くなど会議の活性化を図り、今後のサービス向上につながるなど積極的な改善策を期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議やその他においても連絡を取り合い、関係は良好である。	ホームの管理者は、運営推進会議の案内を、市福祉保険課や地域包括支援センターに届けるなど積極的な対応により、馴染みの関係となるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>安全に配慮しつつ、利用者に自由な暮らしを提供できるよう、玄関や個室の掃き出しは開場していることが多い。</p>	<p>管理者は「身体拘束」について、引継ぎ時に職員に話をし、周知している。また、「言葉による強制」「命令口調」も、身体拘束のひとつであり、気を付けるように指導している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>身体的、精神的虐待等には十分注意し、職員間でもお互いに声を掛け合っている。また研修にも参加している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修などで得た情報を伝達講習等で情報提供する場を設けるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者や家族と十分話し合い、納得と同意を得た後、契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議やイベントにはなるべく多くの参加を促し、家族や利用者との積極的にコミュニケーションをとるようにしている。</p>	<p>職員は、家族が来訪された際には、家族の要望を聞くようにしている。その内容は「連絡ノート」に記載し、その後、管理者が対応している。家族からの苦情や要望は「苦情相談記録」にまとめられ、改善策を検討し家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者とスタッフはほぼ毎日ミーティングを行う中で情報交換や意見交換を行い、管理者は現場スタッフの声をなるべく取り上げるよう心掛けている。</p>	<p>管理者は、毎日の引継ぎ時に、職員の意見を聞き、個々の案件に対処している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人の就業規則に沿い、向上心を育成し働きやすい職場作りに努めている。また勤務表作成にあたっては個人の勤務希望を可能な限りで取り入れるように配慮している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内外の研修等には積極的に参加を促している。またそこで得た情報をスタッフで共有できるよう伝達講習の場を設けるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>広島県シルバーサービス振興会に入会し、介護保険サービス事業者間の交流を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の気持ちに寄り添い、安心感のある日常生活を送っていただけるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	積極的にコミュニケーションを図り、不安や要望を発言しやすい環境づくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	本人、家族と積極的にコミュニケーションを図り必要な支援を見極め、なるべく要望に応えられるよう、出来る限りの対応に努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	お互いに相談しあい、支える関係作りに努めている。グループホーム内では尊厳、役割を持って生活していただけるよう配慮している。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	訪問時や電話などで、近況報告を積極的に行っている。また、利用者と家族が良い関係を保てるようイベント等を開催し、交流の場を図っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	利用者の関係者の訪問は歓迎している。	ホームには、家族・知人がよく訪問されていて、その際には居室でゆっくりとくつろいで頂けるよう配慮している。今までの馴染みの美容院に継続して行かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士がコミュニケーションを図れる様に配慮し、困難な場合にはそのきっかけ作りに努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	本人や家族に会った際には可能な範囲で近況の確認をお行い、必要に応じ相談や助言を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人の思いや意向の把握に努め、その人らしく暮らしていけるような支援に努めている。	日常の会話の中で、利用者の思いを把握し、要望は「連絡ノート」に記入し、職員で共有している。カラオケが好きな方に対して、要望を実現したこともある。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	本人や家族とコミュニケーションをとる中で、これまでの生活歴等の把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日常生活に寄り添う中で、現状把握を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントやモニタリングを繰り返し行い、本人、家族、スタッフ等関係者よりの意見を反映させたプランの作成を行うようにしている。</p>	<p>モニタリングに関しては、リーダーが案をまとめケアプラン作成者に報告している。その後のケアカンファレンスでは、職員の意見を聞きプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別記録簿や連絡ノートで情報を共有し、ケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人のニーズに応じて、多様な支援の方法を備え、多機能化に取り組むよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の能力に応じ、自立した生活が営めるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医と良好な関係を築き、また密に連携を行うことで適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	<p>本人が希望するかかりつけ医に受診し、受診状況や投薬については「連絡ノート」に記載され、職員が情報を共有している。体調が悪くなった時は、家族に連絡し対応している。かかりつけ医が、休日や夜間に対応できない場合は、ホームの協力医に相談し対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>小さなことでも気になる点はかかりつけ医や看護師に相談し、必要に応じて助言を求めることで、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者とは日頃よりコミュニケーションをとり、良い関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>現在の施設の現状でどこまでの支援が出来るかなど、その都度本人や家族との話し合いの中で決定していく。</p>	<p>事業所の方針としては、「設備や人員が十分に整っていない為に、このホームを終生利用できない」ことを、契約時に家族に説明している。重度化した場合には、家族と適切な対応策を相談し支援するようにしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に訓練を行い、全職員が実践力を身につけるよう努力している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>訓練を通じ、全職員が災害対策を身につけ、地域との協力体制も築いている。</p>	<p>年に2回、防火管理者の指導の下に、自主避難訓練を行っている。火災時の避難経路や設備等について、消防署に相談し指導してもらっている。今年度は、夜間を想定した避難訓練を、ホームがあるビルの居住者と一緒に行う予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の個性を大切にし、利用者本位の体制を心掛けている。	職員は、法人が行う「接遇・プライバシー」についての研修や外部研修に参加し勉強している。尿バルーン装着の方に対しては、目立たないように配慮したり、大きな声でトイレ誘導しない等利用者の誇りやプライバシーを損ねない支援や取り組みを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定が可能となるような接遇を心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者個々のペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の衣服を利用者自身に選択してもらおう等の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な範囲で配膳や片付け等を行っている。	ホームの食事は、管理栄養士により献立が立てられているが、時にはおやつとして「お好み焼き」や「たこ焼き」を作ったり、お誕生日会では、ケーキと一緒に作り楽しむ工夫をしている。また食事の嗜好調査を行うなど、入居者の要望に応じる支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事、水分摂取量は記録をつけ支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを促し、困難な部分は職員が支援をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握するよう勤め、排泄はなるべくトイレで行えるよう支援している。</p>	<p>各人の排泄パターンを把握して、トイレ誘導しており、夜間でもできるだけトイレで排泄してもらう等自立に向けた支援を行うようにしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>ほぼ全員に腸内環境を整えるためオリゴ糖をお茶と一緒に飲んでいただいている。適度な運動や水分補給を促している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は設定しているが、拒否や体調不良のある場合などは日程を変更したりし対応している。</p>	<p>入居者毎に入浴日を設定している。入浴を拒否される方に対しては、十分に話をし入浴を勧めるが、それでも拒否される場合は別の日に入浴を設定している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	居室内を清潔に保ち、落ち着く空間が出来るよう配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	個別に服薬ケースを用意し、誤飲や飲み忘れ等がないよう配慮している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	趣味の時間や外出の機会を設けている、また本人に役割を持ってもらうことで、張りのある生活が送れるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	本人の外出の希望が強い場合は、家族に連絡を取り協力を仰いでいる。	気候が良い時期には、花見がてら散歩している。通院や外食などの外出希望があれば、家族に連絡し対応して頂いている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	出納帳で個人の金銭を管理し、必要時には使用できるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	希望時には支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節ごとに応じた花を飾ったり等、落ち着く環境作りに配慮している。	入居者に季節を感じてもらいたいと考え、季節に応じた「雛人形」や「こいのぼり」を展示したり、鉢植えの花を飾ったりして支援に努めている。また、環境整備に気をつけ、掃除を徹底し清潔に保つよう心がけている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	利用者が快適に過ごせるよう、食事の席は位置等考慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人の好みに合わせ居室作りを支援している。	本人の馴染みの家具、家族の写真、植物が好きな方は鉢植えなどを居室に持ち込み、快適な空間を作り居心地よく過ごせる工夫をしている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	本人の自立可能な部分は安全に行えるよう見守りを行っている。また本人の自己決定を促している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ぐるーぷほーむ九嶺

作成日 平成26年1月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町との連携	2か月に一度の運営推進会議を欠かさないようにする。	偶数月は必ず開催する。	1年
2	23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	現在の施設の現状で出来る支援は実行していきご本人・家族との話し合いで決めていく。	重度化さされても出来る支援はしていく。	
3	35	災害対策	職員や入居者の新旧交代もあるので、年2回の災害時訓練を年3回に増やす。	2月・6月・11月	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。